

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：どりーむ東小倉保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：三上 のり子	定員（利用人数）：120（126）名	
所在地：〒212-0033 川崎市幸区東小倉2-36		
TEL：044-542-7885		
ホームページ： http://nagaof.jp/dream_higashiogura/		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2012年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 長尾福社会		
職員数	常勤職員：27名 非常勤職員：6名	
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：24名 管理栄養士：1名	
	看護師：1名 栄養士：2名	
	子育て支援員：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	
	居室：0歳児室	（設備等） 設備：調理室
	居室：1歳児室	設備：調乳室
	居室：2歳児室	設備：沐浴室
	居室：3歳児室	設備：視診室
	居室：4歳児室	設備：事務室
	居室：5歳児室	設備：保健室
	居室：一時保育室	設備：給湯室
		設備：相談室
		設備：遊戯室
		設備：多目的室
		設備：乳児絵本コーナー
		設備：幼児絵本コーナー
		設備：園庭子ども用トイレ
	設備：子ども用トイレ	
	設備：大人用トイレ	
	設備：エレベーター	
	設備：園庭	

③理念・基本方針

<理念>

（法人理念）ふれあう人みんな笑顔に

（保育理念）子どもの伸びる力は無限大

＜基本方針＞

1. 人との関わりを通して、豊かな人間性を持った子どもを育てる。
2. 各年齢の発達の視点をおさえ、一人一人に応じた保育を心し、小学校に繋がる保育を目指す。
3. 家庭との連携のもと、家庭養育の補完につとめ、就労と育児の両立を支援する。
4. 地域の子育て家庭を支援する。

＜保育目標＞

1. 丈夫な身体で生き生きと（集中して）遊べる子ども
2. 友だちと一緒に活動する喜びがもてる子ども
3. 自分の思っていることが言え、人の話がきける子ども
4. 豊かな感性と表現力を持った子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

＜どりーむ東小倉保育園の特徴的な取組＞

- 子どもの伸びる力は無限大を心に、一人一人に応じた支援ができるよう保育計画を作成、実践を検証しながら日々の保育を行う
- 日々の保育が、保護者に見えるような保育の提供と保護者が話しやすい（相談しやすい）組織作り
- 園のおかれている環境を最大限に活用し、子どもたちがのびのびと過ごせる環境作り
- 見える給食室を最大限に利用し、食への関心を育てていく
- 保育園の資源（職員や保育環境）を利用して地域の子育て家庭の支援を行う

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年07月05日（契約日） ～ 2025年01月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2013年度）

⑥総評

【どりーむ東小倉保育園の概要】

●どりーむ東小倉保育園（以下、当園という。）は、社会福祉法人長尾福祉会（以下、法人という。）の運営です。法人は、平成11年に設立され、障がい者施設の他、保育園2園（当園、どりーむ保育園）、通所施設、相談支援、グループホーム2か所も含め、全部で12施設を運営しています。令和元年より新たな夢の実現に向け、法人理念「ふれあう人 みんな笑顔に」の下、一人ひとりに寄り添う気持ちを大切に、障がい部門理念「一人ひとりが主人公」、保育部門理念「子どもの伸びる力は無限大」の考え方の下、日々、園児、利用者と一緒に楽しく生活し、理念の推進を目指しています。

●当園は、JR南武線「鹿島田駅」から徒歩8分、JRの「新川崎駅」から徒歩8分の閑静な住宅地の中に位置しています。園の周囲には、大規模マンションが建ち並び、川崎市立東小倉小学校や、特別養護老人ホーム、東小倉こども公園の他、駅周辺には認可保育園も点在し、子育て世帯が多い地域です。法人姉妹園「どりーむ保育園」も徒歩15分程にあり、連携した取組が成されています。園舎は鉄骨造2階建ての独立した園舎であり、木の壁の外観がやさしく、温かな印象を与えます。また、広々とした園庭（乳児園庭を含む）を有し、中庭（ボードウォーク）は園庭からひと続きになっていて、縄跳びコーナー等にして楽しく過ごしています。

●当園の定員は120名、0歳～5歳児までの保育を実施し、現在126名の園児が在園しています。室内は明るく開放的でゆったりとしたスペースがあり、大きな円柱「ことりの木」の周りのベンチで寛いだり、展示されたクラスの作品を鑑賞できます。絵本コーナーでは、木の囲いで丸く囲われて居心地が良く、絵本を自由に選び、ゆっくり座って読めます。保育室は、各年齢に分かれ、1階に0歳～2歳児及び一時保育室、2階に3歳～5歳児クラスとなっています。また、舞台設備がある遊戯室（ホール）が設定され、日々の活動や発表の場として活用しています。恵まれた環境の中で、全職員は、「子どもの伸びる力は無限大」をモットーに、一人ひとりの子どもの成長を支援し、子どもの意欲、職員の笑顔が溢れる保育園です。

◇特長や今後期待される点

1. 【恵まれた保育環境】

当園の特徴の1つに優れた保育環境が挙げられます。園の周りには多くの公園が点在し、散歩コースに恵まれていることは言うまでもありませんが、園舎内のゆったりとした空間の広がり的魅力的です。玄関も広々とし、散歩用ワゴン（4人乗り）2台が常設され、園内を散歩できます。調査日も0歳児の子どもたちがご機嫌でワゴンに乗り、大きな円柱「ことりの木」の上にある巣箱の中の小鳥を指差し、歓声を上げて楽しんでいました。半円形に広く囲われた絵本コーナーも独特な空間があり、絵本をじっくり読むのに相応しい環境です。余裕のある各保育室の他、遊戯室（ホール）の広さは格別です。たくさんの体育遊具を備え、外部講師による体操教室や、当園で長年勤務している男性保育士による体育指導も積極的に行われ、身体活動の力を育てています。また、テラス・園庭（乳児・幼児）も広く、運動会等の行事が十分できる環境で、子どもも大人もストレスなく伸び伸び過ごせています。今回の利用者（保護者）アンケートにも「環境面（園庭・室内）が素晴らしい」、「雨でも室内・ホールで十分体を動かせる」、「外遊びや運動遊びが子どもの健康、意欲を向上させ、心と体の発達に良い影響が出ている」等々、多くの意見が寄せられています。

2. 【職員一体となったチーム保育】

当園の保育理念「子どもの伸びる力は無限大」をモットーに、どりーむ3つの子育て（①身体活動の力、②精神活動の力、③社会活動の力）に取り組んでいます。全職員は、年齢別のカリキュラムに沿い、一人ひとりの子どもたちの発達段階を見極め、個人差を十分に把握し、子どもを尊重した保育を実践しています。日々、子どもの仕草や言葉に傾聴し、子どもが自主的・自発的に生活や遊びができるよう環境を整え、自発性から自立心への育みを支援しています。幼児クラスでは「兄弟グループ」を編成し、異年齢活動に取り組んでいます。子ども同士の関わりの中で、お互いを意識した関係性が深まり、年長児への「あこがれ」、年少児への「いたわり」の心が育まれています。その様子は、各種会議や行事の報告書等から確認できます。当園の行事全般において、全職員が協力して取り組み、盛り上げていく流れで、職員間のチームワークの良さが発揮されています。今回の利用者（保護者）アンケートでも「園全体の雰囲気が良い」、「全職員で保育」、「子どもを尊重」、「温かい保育園」、「先生がいつも笑顔」等々の意見が多く寄せられ、職員一体となったチーム保育が発揮されていることが窺われます。

3. 【食育の推進】

当園の献立は、川崎市公私立統一献立を基本に、栄養士が工夫を凝らし、子どもたちに喜んで食べてもらえるよう見た目も楽しく、彩りを考えて作成しています。毎月の誕生会メニューは、子ども・保護者から「かわいい!」と大好評です。栄養士は、年間食育計

画に沿って、保育士と連携しながら、季節に応じた食育活動に取り組んでいます。子どもたちに旬の食材に触れさせ、形、硬さ、匂い等を感じさせると共に、皮・さやむき体験（とうもろこし、グリーンピース、そら豆等）を通して、食を身近に感じられるように工夫しています。また、子どもたちが育てた夏野菜（トマト、ピーマン、ナス等）を使った「ピザパーティ」、新米の「おにぎり作り」を子ども・職員で一緒に行い、10月には「さんまの解体ショー」を実演しています。中でも「さんまの解体ショー」では、魚の頭を切り、内臓を取り出して観察し、2点（①さんまの命をいただきます。②魚がみんなの給食になるまで）についての話をし、いつもの挨拶は「命をいただきます」という意味であること、感謝を込めて「『いただきます』を言ってみよう!」と、子どもたちへメッセージを送っています。日々の食育活動では、手作りパネル「三食食品群」を使い、各年齢の食事の様子を見回り、食材の話をしつつ、年齢に応じて子どもたちに分かりやすく、食べ物と体の関係についての話をしています。また、「日頃から食について親子の会話を広げてほしい!」との願いから玄関前に給食室を設置し、子どもたちは広い窓から調理の様子を見て、その日の給食に期待を持ったり、栄養士や調理員と話をする等、日常的に連携が図れています。保護者には、毎月の献立・「給食だより」の配信、毎日の「サンプル」掲示で食事内容を知らせると共に、年度初めの懇談会では、0歳～2歳児の保護者に、提供食（離乳食～幼児食まで）を参加者全員に試食してもらい、園の食事の理解及び、家庭での食育につなげています。今回の利用者（保護者）アンケートでも満足回答率81%と高い評価でした。

4. 【地域支援への取組】

当園の基本方針の1つに「地域の子育て家庭を支援する。」を掲げ、地域支援活動に取り組んでいます。具体的には一時保育、園庭開放、育児相談、絵本読み語り、身体測定、観劇招待（ひとみ座）、小規模施設（保育所）との連携等々、園としてできることに積極的に取り組んでいます。地域的に子育て世代が多いことから、園見学会には、50人以上の参加者があります。コロナ禍の影響から、低迷していた園庭開放が再開し、園見学の参加者からの口コミもあり、徐々に来園者が増えてきつつある状況です。当園の保育士層のスキルが高いことから、保護者の悩みに寄り添った育児支援が十分にできると推察します。中・長期ビジョンに掲げている「地域に愛され、地域に根差した保育園を持続する。」に向けて、計画・実施していかれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 どりーむ東小倉保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

お忙しい中に、保護者からのアンケートの回収率86%と高く、ご協力に感謝いたします。また、「子どもたちが保育園で楽しく過ごしている」との評価項目の満足度を嬉しく思い、これからも職員と協力しながら、子どもたちのわくわく、ドキドキ体験がより多く展開でき、合わせて「一人一人の子どもの伸びる力をさらに応援」して参りたいと思います。

今回の評価を受け、様々な気づきや改善できることは、実行に移しています。

●利用者や職員への共通理解や周知の仕方は、丁寧に言葉と書面の活用をしていく。

●職員会議の場を活用し、職員に運営状況を具体的に示し、課題意識を持ってもらう。等です。

《評価後取組んだこととして》

1. 第三者評価集計、分析

2. 今後に向けての継続と改善内容を確認。次年度に生かす方法を検討。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり